

簡単・シンプルで患者の負担が少ない審美補綴のテクニック!

歯肉ラインを整え歯肉退縮を防ぐ

生物学的審美補綴法

# BTAテクニック®

Biological Tissue Adaptation Technique

## の臨床

著 坪田健嗣

(東京都港区・赤坂フォーラムデンタルクリニック)

[協力] 下野正基 (東京歯科大学名誉教授)

- BTAテクニック®は外科手術や矯正治療を行わず短期間に歯肉ラインを整えることができる治療法で、患者の肉体的、精神的、経済的負担を軽減できます。
- 本法の最大の特徴は、ラミネートベニア、セラミッククラウン等のマージン形態をオーバーハングにすることであり、マージン部分を歯肉と密着させて歯垢の付着を防ぎ、細菌を侵入しにくくして歯肉組織の健康を維持します。
- 著者が25年ほど前に考案し500症例以上を積み重ねてきており、歯肉の炎症、後戻り、退縮を抑制し、長期にわたって審美性と健康を維持できる、きわめて予後のよい補綴法です。
- 本書はBTAテクニック®についてまとめられた初の成書であり、本書を通して臨床の実際と、裏付けとなる理論について詳しく学べます。



A4変判・80頁・オールカラー・定価(本体7,400円+税)

株式会社 **ヒョーロン**・パブリッシャーズ

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-8-3 第25中央ビル  
Tel.03-3252-9261~4 Fax.03-3254-3876  
<https://www.hyoron.co.jp>

歯肉ラインを整え歯肉退縮を防ぐ

生物学的審美補綴法

# BTAテクニック®の臨床

Biological Tissue Adaptation Technique

## 内容紹介

### 第1章 BTAテクニック®で歯肉ラインを整える

- I. 歯肉ラインを整える（根尖方向に移動する）方法
- II. BTAテクニック®の治療手順
- III. 臨床例
- IV. BTAテクニック®の適応症，禁忌症，有効性と利点

### 第2章 BTAテクニック®で歯肉退縮を防ぐ

- I. 歯肉退縮の問題点
- II. 臼歯部でBTAテクニック®を用いるメリット
- III. 臨床例
- IV. オーバーブラッシングによる歯肉退縮は，どのようなメカニズムで起きているのだろうか？
- V. なぜBTAテクニック®で，歯肉退縮を抑制できるのか？

### 第3章 BTAテクニック®が成功する生物学的な理由

- I. 3次元的なbiologic width
- II. 補綴装置マージンと歯肉の適合  
……Biological Tissue Adaptation
- III. 辺縁歯肉の厚みの増加
- IV. 歯肉縁と補綴装置唇側部の平坦化
- V. 辺縁歯肉のサポート（歯肉線維，血管）
- VI. 補綴装置マージンによる辺縁歯肉の物理的保護
- VII. 辺縁歯肉の骨縁への近接

### 第4章 BTAテクニック®に対するQ&A

- Q1 BTAテクニック®に対する2大疑惑①  
BTAテクニック®はBiologic Widthを侵襲しているのか？
- Q2 BTAテクニック®に対する2大疑惑②  
オーバーハングマージンは歯周組織に有害であるか？
- Q3 歯肉切除には何を用いるのか？
- Q4 隣接面の形態にもBTAテクニック®を適用するのか？  
舌側にBTAテクニック®を用いることはあるのか？
- Q5 プロビジョナルの作り方は？
- Q6 メインテナンスについて
- Q7 技工についての注意点
- Q8 アウターマージンの位置，BTAアングルの角度での注意点は？
- Q9 セメンティングでセメントの取り残しが起こらないのか？
- Q10 BTAテクニック®の支台歯形成のマージンは，シャンファー，ショルダー，ナイフエッジの中で何がいいのか？
- Q11 BTAテクニック®をインプラントに用いることは有効か？
- Q12 BTAテクニック®の経過観察結果は？

### BTAテクニック®の臨床例

- 症例Ⅰ BTAテクニック®で歯肉ラインを整える
- 症例Ⅱ BTAテクニック®によるラミネートベニア修復の20年長期症例
- 症例Ⅲ BTAテクニック®で治療後，歯肉の発赤が消失した症例
- 症例Ⅳ BTAコンセプトを応用した分割抜歯後のクラウン作製
- 症例Ⅴ 術後，マージン部に被った歯肉を退縮させるため逆ローリング法を指導した症例

### 付章 病理学的にみたBTAテクニック®における上皮付着の可能性【下野正基】